

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成 2 5 年 1 0 月 3 1 日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成 2 5 年 1 1 月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【10月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

10月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を下回る入荷となった。

「前年を上回った」のは、はくさい、トマトの2品目である。

「前年並み」は、キャベツ、ほうれんそう、ばれいしょの3品目である。

「前年をやや下回った」のは、きゅうり、たまねぎの2品目である。

「前年を下回った」のは、ねぎ、レタスの2品目である。

「前年をかなり下回った」のは、だいこん、にんじん、なす、ピーマンの4品目である。

「前年を大幅に下回った」のは、さといもの1品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、10月の野菜価格は、総じて前月平均を下回る価格となった。

「前月平均を上回った」のは、トマトの1品目である。

「前月平均並み」は、さといもの1品目である。

「前月平均を下回った」のは、だいこん、にんじん、キャベツ、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、ピーマン、ばれいしょ、たまねぎの10品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、ほうれんそうの1品目である。

「前月平均を大幅に下回った」のは、はくさいの1品目である。

【11月の見通し】

① 入荷量の見通し

11月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年並みの入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、北海道主体のばれいしょの1品目である。

「前年並み」は、北海道及び千葉県主体のだいこん、北海道主体のにんじん、はくさい、ほうれんそう、ねぎ、たまねぎ、北海道及び茨城県主体のキャベツ、レタス、北海道及び熊本県主体のトマトの9品目である。

「前年をやや下回る」のは、北海道及び宮崎県主体のきゅうり、高知県及び熊本県主体のなす、埼玉県及び宮崎県主体のさといものの3品目である。

「前年を下回る」のは、北海道及び宮崎県主体のピーマンの1品目である。

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、11月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格が見込まれる。

「前月平均をかなり上回る」のは、きゅうり、なすの2品目である。

「前月平均を上回る」のは、キャベツ、レタス、ピーマン、さといものの4品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、はくさい、ほうれんそう、ねぎの3品目である。

「前月平均並み」は、だいこん、にんじん、トマト、ばれいしょ、たまねぎの5品目である。

※ この資料の内容は、10月30日（水）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	11月の入荷量			11月の卸売価格			11月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	△	=	△	=	○	○	北海道(77.2%)、千葉(9.0%)
にんじん	=	=	=	=	○	=	北海道(98.3%)
はくさい	△	=	=	○	○	=	北海道(89.4%)
キャベツ	=	=	=	○	○	○	北海道(60.8%)、茨城(23.0%)
ほうれんそう	△	=	△	○	○	○	北海道(86.5%)
ねぎ	△	=	△	○	△	=	北海道(88.6%)
レタス	△	=	△	○	△	△	茨城(83.2%)、北海道(14.2%)
きゅうり	△	△	=	○	○	=	宮崎(82.6%)、北海道(15.1%)
なす	=	△	△	○	○	○	高知(77.8%)、熊本(6.1%)
トマト	△	=	△	=	△	○	北海道(56.4%)、熊本(41.5%)
ピーマン	△	△	=	○	○	○	宮崎(53.4%)、北海道(33.2%)
ばれいしょ	△	○	=	=	○	△	北海道(100.0%)
さといも	○	△	△	○	○	○	宮崎(75.9%)、埼玉(9.0%)
たまねぎ	△	=	=	=	○	△	北海道(99.9%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い